

じゅ 受	けん 検	ばん 番	ごう 号	し 氏	めい 名

1 電一次(前)

令和 5 年度

1 級電気工事施工管理技術検定

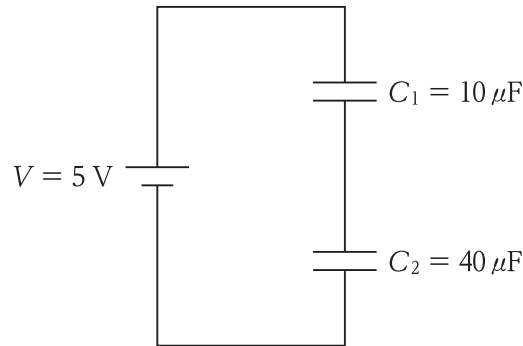
第一次検定問題(午前の部)

[注 意 事 項]

1. ページ数は、表紙を入れて 22 ページです。
2. 試験時間は、10 時 15 分から 12 時 45 分までです。
3. 解答は、次によってください。
 - 1) [No. 1] から [No. 15] までは、15 問題のうちから 10 問題を選択し、解答してください。
 - 2) [No. 16] から [No. 47] までは、32 問題のうちから 14 問題を選択し、解答してください。
 - 3) [No. 48] から [No. 55] までは、8 問題のうちから 5 問題を選択し、解答してください。
 - 4) [No. 56], [No. 57] の 2 問題は、全問解答してください。
4. 選択問題の解答数が指定数を超えた場合は、減点となります。
5. 問題は、四肢択一式です。正解と思う肢の番号を、塗りつぶしてください。
6. 解答は、別の解答用紙に、HB の芯を用いたシャープペンシル又は HB の鉛筆で記入してください。それ以外のボールペン・サインペン・色鉛筆などを使用した場合は、採点されません。
7. マークを訂正する場合は、消しゴムできれいに消してください。
消しかたが十分でないと指定数を超えた解答となり、減点となります。
8. 解答用紙は、雑書きをしたり、汚したり、折り曲げたりしないでください。
9. この問題用紙の余白を、計算などに使用することは自由です。
10. 漢字に付したふりがなは補足であり、異なる読み方の場合があります。
11. この問題用紙は、試験終了時刻まで在席した方のうち、希望者は持ち帰ることができます。
途中退席者や希望しない方の問題用紙は回収します。

※ 問題番号 [No. 1] から [No. 15] までは、15 問題のうちから 10 問題を選択し、解答してください。

[No. 1] 図に示す回路において、コンデンサ C_1 に蓄えられる電荷 Q [μC] の値として、正しいものはどれか。

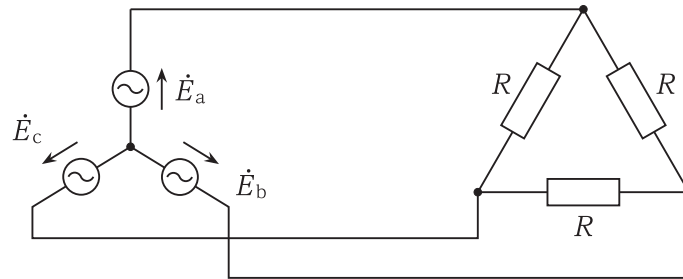


1. $40 \mu\text{C}$
2. $65 \mu\text{C}$
3. $150 \mu\text{C}$
4. $250 \mu\text{C}$

[No. 2] 静電界における電気力線に関する記述として、不適当なものはどれか。

1. 電気力線は、等電位面と垂直に交わる。
2. 電気力線は、負電荷に始まり正電荷に終わる。
3. 電気力線の向きは、その点の電界の方向と一致する。
4. 電気力線が密なところは電界が強く、疎なところは弱い。

[No. 3] 図に示す平衡三相回路において、電源側の相電圧が E [V]、負荷側の抵抗値が R [Ω] である場合の負荷の消費電力 P [W] の値を表す式として、正しいものはどれか。

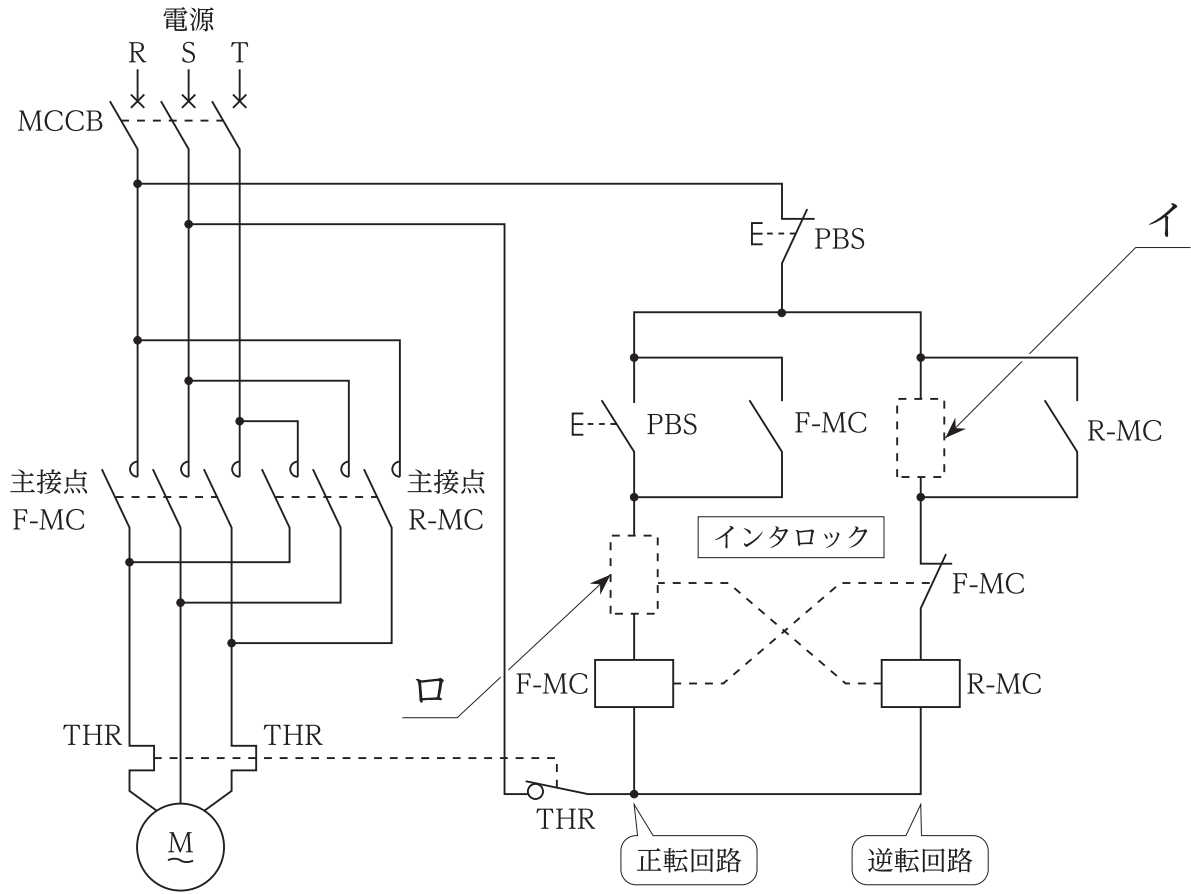


1. $P = \frac{\sqrt{3} E^2}{R}$ [W]
2. $P = \frac{3 E^2}{R}$ [W]
3. $P = \frac{3\sqrt{3} E^2}{R}$ [W]
4. $P = \frac{9 E^2}{R}$ [W]

[No. 4] 指示電気計器の動作原理に関する記述として、不適当なものはどれか。

1. 熱電対形計器は、測定電流で熱せられる一つ以上の熱電対の起電力を用いる熱形計器である。
2. 誘導形計器は、固定電極と可動電極との間に生ずる静電力の作用で動作する計器である。
3. 永久磁石可動コイル形計器は、固定永久磁石の磁界と可動コイル内の電流による磁界との相互作用によって動作する計器である。
4. 電流力計形計器は、可動コイル内の電流による磁界と、一つ以上の固定コイル内の電流による磁界との相互作用によって動作する計器である。

[No. 5] 図に示す三相電動機の正逆運転制御回路のシーケンス図において、イとロに用いる
 図記号の組合せとして、**適当なものはどれか。**



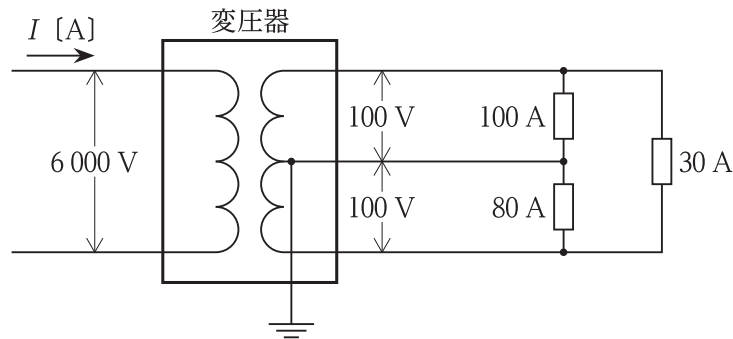
- | | イ | ロ |
|----|---|---|
| 1. | | |
| 2. | | |
| 3. | | |
| 4. | | |

[No. 6] 発電機に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. 同期発電機には、回転界磁形と回転電機子形がある。
2. 同期発電機の界磁巻線に直流電流を供給し、端子電圧を一定に保持あるいは調整する装置を励磁装置という。
3. 誘導発電機は、一般に構造が複雑で高価である。
4. 誘導発電機は、一般に電力系統より励磁電流を受けて運転するので、単独運転はできない。

[No. 7] 図に示す変圧器の一次電流 I [A] の値として、正しいものはどれか。

ただし、各負荷の電流は図示の値、各負荷の力率は100%とし、変圧器及び電線路の損失は無視するものとする。



1. 3.5 A
2. 4.0 A
3. 5.3 A
4. 7.0 A

[No. 8] 高圧進相コンデンサに関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. はく電極 (NH) コンデンサは、自己回復機能をもっている。
2. はく電極 (NH) コンデンサは、薄いアルミ箔でフィルムを挟んで対向させる構造である。
3. 蒸着電極 (SH) コンデンサは、薄い絶縁シートの両側に亜鉛を蒸着した構造である。
4. 蒸着電極 (SH) コンデンサは、ケースがある程度膨張するとコンデンサ配線を切断する保護装置が内蔵されているものがある。

[No. 9] 水力発電所において、最大出力 147 MW を発電するために必要な流量 [m³/s] として、正しいものはどれか。

ただし、有効落差は 250 m とし、水車効率と発電機効率を総合した効率を 80 % とする。

1. 25 m³/s
2. 48 m³/s
3. 75 m³/s
4. 96 m³/s

[No. 10] 変電所の構成機器に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. 酸化亜鉛形避雷器には、直列ギャップが必要である。
2. ガス絶縁開閉装置 (GIS) は、六ふっ化硫黄ガス (SF₆) で絶縁している。
3. 負荷時タップ切換変圧器には、切換時に二つのタップ間が短絡しないように限流抵抗が用いられる。
4. 中性点接地抵抗器は、電力系統の地絡故障電流を抑制するために設けられる。

[No. 11] 架空送電線に近接している通信線への電磁誘導電圧に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. 送電線の故障電流や各相の負荷電流の不平衡により発生する。
2. 各相と通信線との間の相互インダクタンスの不平衡により常時発生する。
3. 送電線と通信線の平行長が長いほど大きくなる。
4. 導電率の高い架空地線を設置すると大きくなる。

[No. 12] 電力系統に接続する電源に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. 流込式水力発電は、需要に見合った出力調整が難しく、ベース供給力として使用される。
2. 揚水式水力発電は、負荷追従性に優れており、ピーク供給力として使用される。
3. 風力発電は、需要に見合った出力調整が容易なため、ピーク供給力として使用される。
4. 原子力発電は、長時間安定した運転ができるので、ベース供給力として使用される。

[No. 13] 屋内照明に関する記述として、不適当なものはどれか。

1. 相関色温度5300K未満の光源の光色は、涼色に分類される。
2. 精密な作業における演色性については、平均演色評価数Raの最小値として80が推奨されている。
3. 光度とは、光源からある方向に向かう光束の、単位立体角当たりの割合である。
4. 直接グレアは、人に不快感を及ぼす不快グレアと視対象物を見えにくくする減能グレアに分類される。

[No. 14] 金属の電解析出に関する次の文章に該当する用語として、最も適切なものはどれか。

「不純物を含む金属板を陽極とし、その金属イオンを含む溶液中で電気分解を行うと、陰極には純金属が析出し、高純度の金属が得られる。」

1. 電鋳
2. 電解精錬
3. 電解研磨
4. 電気めっき

[No. 15] 三相誘導電動機に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. 滑りは、同期速度を、同期速度と回転子速度との差で除した値となる。
2. 二次回路の抵抗値と滑りが比例するならば、トルクは一定である。
3. 負荷のトルクが停動トルク以上になると、電動機は停止する。
4. 電動機の実測効率、電動機出力を電動機入力で除した値となる。

※ 問題番号 [No. 16]から[No. 47]までは、32問題のうちから14問題を選択し、解答してください。

[No. 16] 蒸気タービンによる汽力発電と比較した、コンバインドサイクル発電に関する記述として、不適当なものはどれか。
ただし、発電設備は同容量とする。

1. 熱効率が低い。
2. 始動用電力が少ない。
3. 起動・停止時間が短い。
4. 大気温度の変化が、出力に与える影響が小さい。

[No. 17] 固体高分子形燃料電池に関する記述として、不適当なものはどれか。

1. 一酸化炭素を燃料に使用できる。
2. 電解質にイオン交換膜を用いている。
3. リン酸形燃料電池に比べて作動温度が低い。
4. 固体酸化物形燃料電池に比べて起動が早い。

[No. 18] 変電所に設置される油入変圧器に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. 鉄心の磁束密度を高くすることは、騒音対策に有効である。
2. 外気中の湿気の侵入を防止するため、呼吸口に吸湿呼吸器を付けている。
3. 無圧密封形コンサベータは、絶縁油の劣化防止のために用いられる。
4. 送油風冷式変圧器では、油を送油ポンプで強制循環させるとともに冷却ファンによって放熱器を強制風冷させている。

[No. 19] 電力系統の局所的な故障の影響が、全系統に波及拡大することを防ぐ事故波及防止保護リレーシステムの設置目的として、最も不適当なものはどれか。

1. 脱調保護
2. 母線保護
3. 周波数低下防止保護
4. 過負荷防止保護

[No. 20] 電力系統の供給信頼度の向上対策に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. 発電機，送電線，変圧器などの機器は，できる限り並列接続する。
2. 機器の定期点検は，負荷の軽重に関わらず，年間を通して平均化するように計画する。
3. 交流連系線や直流連系線，周波数変換設備などで隣接系統間を連系し，広域運営を行う。
4. 多重化や自動監視の適用などによって，保護継電装置の信頼度を向上させる。

[No. 21] 架空送電線路のギャロッピングに関する記述として，最も不適当なものはどれか。

1. 電線に付着した氷雪が脱落し，その反動で電線が跳ね上がる現象である。
2. 振幅が大きくなり，相間短絡を起こすことがある。
3. 単導体よりも多導体において発生しやすい。
4. 防止対策として，送電線に相間スペーサを取り付ける方法がある。

[No. 22] 三相3線式の地中送電線路において，無負荷時の充電容量 Q_c [kV・A] を表す式として，正しいものはどれか。

ただし，各記号は次のとおりとする。

V ：線間電圧 [kV]

C ：ケーブル1線当たりの静電容量 [μ F]

ω ：角周波数 [rad/s]

1. $Q_c = \frac{1}{\sqrt{3}} \omega C V \times 10^{-3}$ [kV・A]
2. $Q_c = \omega C V \times 10^{-3}$ [kV・A]
3. $Q_c = \omega C V^2 \times 10^{-3}$ [kV・A]
4. $Q_c = 3 \omega C V^2 \times 10^{-3}$ [kV・A]

[No. 23] 送電線の表皮効果に関する記述として、**不適当なものはどれか。**

1. 周波数が高いほど、表皮効果は大きくなる。
2. 導電率が小さいほど、表皮効果は小さくなる。
3. 表皮効果が小さいほど、電力損失が小さくなる。
4. 表皮効果が大きいほど、電線中心部の電流密度は大きくなる。

[No. 24] 架空送電線路におけるコロナ放電の抑制対策として、**不適当なものはどれか。**

1. 多導体の場合、素導体数を減らす。
2. がいし装置にシールドリングを設ける。
3. より太い電線を使用する。
4. がいし装置の金具は、突起物をなくし丸みを持たせる。

[No. 25] 配電系統の保護に関する記述として、**最も不適当なものはどれか。**

1. 高圧配電線路の地絡保護のために、変電所に過電流継電器を施設する。
2. 雷による高圧配電線路の機器保護のため、柱上変圧器の一次側に避雷器を施設する。
3. 高圧配電線路の短絡保護のため、電路に過電流遮断器を施設する。
4. 低圧配電線路の短絡故障に対し、柱上変圧器の一次側に高圧ヒューズを施設する。

[No. 26] 分散型電源の系統連系設備に関する用語の定義として、「電気設備の技術基準とその解釈」上、**誤っているものはどれか。**

1. 自立運転とは、分散型電源が連系している電力系統から解列された状態において、当該分散型電源設置者の構内負荷にのみ電力を供給している状態である。
2. 線路無電圧確認装置とは、電線路の電圧の有無を確認するための装置である。
3. 逆潮流とは、分散型電源設置者の構内から、一般送配電事業者が運用する電力系統側へ向かう有効電力の流れである。
4. 転送遮断装置とは、遮断器の遮断信号を通信回線で伝送し、同じ構内に設置された別の遮断器を動作させる装置である。

[No. 27] 配電系統に発生する電圧フリッカの抑制対策に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. 発生源への電力供給を短絡容量の大きな電源系統に変更する。
2. 発生源の電源側にステップ式自動電圧調整器(SVR)を施設する。
3. 発生源への電力供給を専用の変圧器から行う。
4. アーク炉などフリッカ負荷がある場合は、三巻線補償変圧器を設置する。

[No. 28] 屋内全般照明の光束法による照度計算に関する記述として、不適当なものはどれか。

1. 壁面の反射率が小さいほど、照度は下がる。
2. 保守率が小さいほど、照度は下がる。
3. 室指数が大きいほど、照度は下がる。
4. 作業面から光源までの高さが高いほど、照度は下がる。

[No. 29] 屋内に施設するフロアヒーティングに関する記述として、「電気設備の技術基準とその解釈」上、不適当なものはどれか。

1. 発熱線に電気を供給する電路の対地電圧を、150 V以下とした。
2. 使用電圧が100 Vの発熱線に直接接続する電線の被覆に使用する金属体には、D種接地工事を施した。
3. 発熱線に電気を供給する電路には、専用の過電流遮断器(MCCB)を設けるほか、漏電遮断器(ELCB)を設置した。
4. 発熱線の温度は、120℃を超えないように施設した。

[No. 30] 低圧電路に施設する過電流遮断器の性能等に関する記述として、「電気設備の技術基準とその解釈」上、**不適当なものはどれか。**

ただし、低圧電路は、電動機のみに至る低圧分岐回路とする。

1. 短絡保護専用遮断器は、整定電流の1.2倍の電流で0.2秒以内に動作しないこと。
2. 短絡保護専用遮断器の整定電流は、定格電流の13倍以下であること。
3. 過負荷保護装置は、電動機が焼損するおそれがある過電流を生じた場合に、自動的にこれを遮断すること。
4. 過電流遮断器として、過負荷保護装置と短絡保護専用遮断器を組み合わせて使用する装置は、専用の一の箱の中に収めること。

[No. 31] 次の負荷ア、イを接続する低圧屋内幹線に必要な許容電流の最小値[A]として、「電気設備の技術基準とその解釈」上、**適当なものはどれか。**

- ア 電動機の定格電流の合計：80 A
イ ヒータの定格電流の合計：60 A

1. 148 A
2. 154 A
3. 160 A
4. 175 A

[No. 32] 高圧受変電設備に用いる機器に関する記述として、**不適当なものはどれか。**

1. 高圧遮断器の引外し方式には、過電流引外し、電圧引外し、コンデンサ引外し等がある。
2. 高圧限流ヒューズの種類は、溶断特性により、一般用はG、変圧器用はTの記号で表される。
3. 進相コンデンサの端子電圧は、直列リアクトルを用いた場合、回路の電圧より低下する。
4. 変圧器のパーセントインピーダンスが大きいほど、変圧器二次側の遮断器の遮断容量は小さくできる。

[No. 33] キュービクル式高圧受電設備に関する記述として、「日本産業規格(JIS)」上、**不適当なもの**はどれか。

1. CB形の主遮断装置は、遮断器と過電流継電器とを組み合わせたもの、又は一体としたものとする。
2. 高圧引出しを行う場合、引出し形遮断器を使用すれば断路器を省略できる。
3. 自動力率調整を行う一つの開閉装置に接続することができる高圧進相コンデンサの設備容量は、200kvar以下とする。
4. 変圧器容量が500kV・Aの場合は、変圧器の一次側の開閉装置として、高圧カットアウトを使用することができる。

[No. 34] 3回線で受電する低圧スポットネットワーク方式に関する記述として、**不適当なもの**はどれか。

1. 低圧スポットネットワーク方式とは、ネットワーク変圧器の二次側電圧が低圧の方式をいう。
2. 一次側の1回線が停止しても、残りの変圧器で最大需要電力を供給できるように、変圧器容量を選定する。
3. プロテクタヒューズは、ネットワーク変圧器の一次側に設置される。
4. プロテクタ遮断器は、ネットワーク母線からの逆潮流により遮断動作する。

[No. 35] 自家発電設備に用いるディーゼル機関の冷却方式に関する記述として、**最も不適当なもの**はどれか。

1. 冷却塔方式は、機関より出た冷却水を冷却塔に導き、蒸発潜熱の作用により冷却する。
2. 熱交換冷却方式は、熱交換器の一次側(内燃機関本体側)には清水を使用するが、二次側には河川水などを使用することができる。
3. 直結ラジエータ冷却方式は、地震等により補給水が断たれた場合、運転が不可能となる。
4. 水槽循環冷却方式は、水槽への補給水が断たれた場合でも、水温が許容限度に上昇するまでは運転を継続できる。

[No. 36] 据置鉛蓄電池に関する記述として、「日本産業規格(JIS)」上、不適当なものはどれか。

1. ベント式は、防まつ構造をもつ排気栓を用いて、酸霧が脱出しないようにした蓄電池の方式である。
2. 触媒栓は、蓄電池を充電したときに発生する酸素ガス及び水素ガスを触媒反応によって水に戻す機能をもつ栓である。
3. 制御弁式鉛蓄電池は、通常条件下ではガスを放出するが、内圧が規定値を超えた場合、密閉状態となる蓄電池である。
4. 制御弁式のモノブロック電池は、正負極板、隔離板、電解液及び端子又は中間接続体を組み立てて収納した独立の単電池室を、電氣的に複数個接続した1個の電池である。

[No. 37] 鉄骨造の建築物における接地工事に関する記述として、「電気設備の技術基準とその解釈」上、不適当なものはどれか。

1. 建物の鉄骨その他の金属体は、大地との抵抗値が 2Ω であるとき、非接地式高圧電路に施設する機械器具等に施すA種接地工事の接地極に使用できる。
2. 変圧器のB種接地工事は、高圧と低圧との混触による危険を防止するために、低圧側電路の中性点又は一端に施すものである。
3. 低圧電路に地絡を生じた場合に1秒で遮断する漏電遮断器を設けるときは、C種接地工事の接地抵抗値を 500Ω にできる。
4. 一部が地中に埋設された建物の鉄骨を、A種、B種、C種及びD種接地工事の共用の接地極として使用する場合には、等電位ボンディングを施す必要がある。

[No. 38] 中央監視制御装置の機能に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. 無効電力制御は、コンデンサの台数制御を行い、常に力率を適正に保つ制御を行う。
2. 発電装置負荷制御は、停電時等の発電装置立上げに伴い、設定された優先順位に従い負荷制御を行う。
3. 電力デマンド監視は、使用電力量から一定周期で使用電力を監視し、デマンド目標値を超えるおそれがある場合に警報を発生する。
4. トレンド表示は、設備系統図や平面図を表示装置上に表示して、機器の状態や警報をそのシンボルの色変化や点滅で表示を行う。

[No. 39] 自動火災報知設備に関する記述として、「消防法」上、不適当なものはどれか。

1. 面積 600 m^2 で一辺の長さが 100 m の工場に光電式分離型感知器を設置したので、一の警戒区域とした。
2. 面積 600 m^2 で一辺の長さが 50 m の事務室に煙感知器を設置したので、一の警戒区域とした。
3. 事務所ビルの3階と4階それぞれの床面積が 500 m^2 であったので、合わせて一の警戒区域とした。
4. 学校の体育館で主要な出入口から内部を見通すことができたので、一の警戒区域の面積を 1000 m^2 とした。

[No. 40] 非常用の照明装置(照明設備)に関する記述として、「建築基準法」上、誤っているものはどれか。

1. 地下街の各構えの接する地下道の床面において、水平面照度で 5 lx 以上を確保しなければならない。
2. 照明器具(照明カバーその他照明器具に付属するものを含む。)のうち主要な部分には、難燃材料で造り、又は覆わなければならない。
3. 予備電源と照明器具との電気配線に用いる電線は、 600 V 二種ビニル絶縁電線その他これと同等以上の耐熱性を有するものとしなければならない。
4. LEDランプを用いる場合は、常温下で床面において水平面照度で 2 lx 以上を確保しなければならない。

[No. 41] マイクロホンの選定に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. 講堂での一般的なスピーチに使用するため、ムービングコイルマイクロホン(ダイナミック形)を選定した。
2. スタジオでのピアノ演奏の録音に使用するため、コンデンサマイクロホン(エレクトレット形)を選定した。
3. 目的外の音の集音を避けるため、単一指向性マイクロホンを選定した。
4. 周囲のすべての方向からの音を集音するため、両指向性マイクロホンを選定した。

[No. 42] テレビ共同受信設備の分岐器、分配器における電気的特性に関する記述として、不適当なものはどれか。

1. 分岐器において、入力→分岐間を通過する際の損失を挿入損失という。
2. 分岐器において、分岐→出力間を通過する際の損失を逆結合損失という。
3. 分配器において、入力→分配(出力)間を通過する際の損失を分配損失という。
4. 分配器において、分配(出力)→別の分配(出力)間を通過する際の損失を端子間結合損失という。

[No. 43] 電気鉄道におけるトロリ線の温度上昇対策として、不適当なものはどれか。

1. 耐熱性の優れたトロリ線を使用する。
2. トロリ線の断面積を大きくする。
3. トロリ線の硬点を少なくする。
4. パンタグラフすり板にトロリ線との接触抵抗の少ないものを使用する。

[No. 44] 電気鉄道における交流き電方式(単相交流 20 kV)と比較した、直流き電方式(直流 1500 V)に関する記述として、不適当なものはどれか。

1. 変電所の変電設備が簡単である。
2. 地下埋設物の電食について考慮する必要がある。
3. 変電所間隔を短くする必要がある。
4. トンネル断面が小さくできる。

[No. 45] 電気鉄道における常置信号機のうち、主信号機に分類されるものとして、不適当なものはどれか。

1. 場内信号機
2. 遠方信号機
3. 入換信号機
4. 出発信号機

[No. 46] 道路トンネル照明に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. 基本照明は、トンネル全長にわたり、灯具を原則として一定間隔に配置する。
2. 基本照明は、トンネルを走行する運転者が、前方の障害物を安全な距離から視認するために必要な明るさを確保するための照明である。
3. 入口部照明の路面輝度は、野外輝度が低い場合には、それを補うために高くしなければならない。
4. 入口部照明の路面輝度は、境界部が最も高く、移行部、緩和部の順に低くなる。

[No. 47] マイクロ波通信に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. 広帯域伝送が可能で伝送品質が良い。
2. 波長が短いので、鋭い指向性をもつアンテナを使用することができる。
3. 他回線との混信や干渉が起き難い。
4. 電離層と大地の間で反射して伝搬するため、中継することなく遠距離まで通信が可能である。

※ 問題番号 [No. 48]から[No. 55]までは、8問題のうちから5問題を選択し、解答してください。

[No. 48] 空気調和設備の熱負荷計算に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. 人体、照明及び機器発熱による熱負荷は、室内負荷として冷房負荷に含める。
2. 室内圧力が正圧の場合、窓からのすきま風負荷は、暖房負荷に含めないことが多い。
3. ガラス窓透過日射熱負荷は、暖房負荷に含めないことが多い。
4. 地下階の土壌に接している壁の通過熱負荷は、冷房負荷に含める。

[No. 49] 高置タンク方式による給水設備の運転制御に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. 受水タンク及び高置タンクの水位を検出して、満水警報と減水警報を設ける。
2. 揚水ポンプの運転は、高置タンクからの発停信号により2台で自動交互運転を行う。
3. 高置タンクからの減水警報信号により、揚水ポンプの空転防止を行う。
4. 受水タンクの水位制御は、パイロット電磁弁の開閉により定水位調整弁が作動して給水する。

[No. 50] 土質調査において、ボーリング孔を利用して行う原位置試験(現地で直接行う試験)として、最も不適当なものはどれか。

1. 粒度試験
2. 現場透水試験
3. 孔内載荷試験
4. 標準貫入試験

[No. 51] 建設工事において使用する掘削機械に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. バックホウは、機械の位置よりも低い場所の掘削に適している。
2. ローディングショベルは、機械の位置よりも高い場所の掘削に適している。
3. クラムシェルは、ワイヤロープによって吊り下げた開閉式のバケットで掘削する機械で、狭く深い場所の掘削に適している。
4. ドラグラインは、ワイヤロープによって吊り下げたバケットを手前に引きよせて掘削する機械で、かたい地盤の掘削に適している。

[No. 52] 次の記述に該当する土留め壁の名称として、最も適当なものはどれか。

「遮水性がよく、地下水位の高い地盤にも適するが、構成する材料が長尺な物の施工では、傾斜や継手の離脱が生じやすく、それを引き抜くとき地盤沈下しやすい土留め壁である。」

1. 既製杭壁
2. 鋼矢板壁(シートパイル型)
3. 親杭横矢板土留め壁
4. ソイルセメント壁

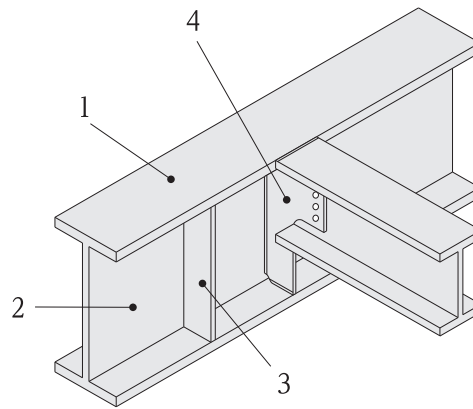
[No. 53] 鉄道線路における軌道変位に関する記述として、不適当なものはどれか。

1. 軌間とは、2本のレールの内面距離のことをいい、軌道の軌間変位は、その距離の設計値からのずれのことである。
2. 通りとは、レール側面の長さ方向の凹凸のことをいい、軌道の通り変位は、その凹凸の設計値からのずれのことである。
3. 高低変位は、左右レールの高さの差のことをいい、列車荷重が繰り返し加わることにより生ずるものである。
4. 軌道の平面性変位は、軌道面のねじれの設計値からのずれのことをいい、緩和曲線中では、構造的な平面性変位がある。

[No. 54] 鉄筋コンクリートに関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. クリープは、持続荷重が作用すると時間の経過とともにひずみが増大する現象のことである。
2. コンクリートと鉄筋の付着強度は、異形鉄筋より丸鋼を用いた方が大きい。
3. コンクリートのアルカリ性により、鉄筋をさびにくくしている。
4. 打設時にコンクリートのまわりが悪くなるおそれがあるため、隣り合うガス圧接継手の位置をずらす。

[No. 55] 鉄骨工事に用いる鋼材の部材名称として、最も不適当なものはどれか。



1. フランジプレート
2. ウェブプレート
3. スプライスプレート
4. ガセットプレート

※ 問題番号 [No. 56], [No. 57]の2問題は、全問解答してください。

[No. 56] 電話・情報設備に用いる中間配線盤の図記号として、「日本産業規格(JIS)」上、
正しいものはどれか。

- | | | | |
|----|------------------------------|----|------------------------------|
| 1. | <input type="checkbox"/> RT | 2. | <input type="checkbox"/> IDF |
| 3. | <input type="checkbox"/> DSU | 4. | <input type="checkbox"/> ATT |

[No. 57] 請負契約における現場代理人に関する記述として、「公共工事標準請負契約約款」上、
誤っているものはどれか。

1. 受注者は、現場代理人を定めて工事現場に設置し、設計図書に定めるところにより、その氏名その他必要な事項を発注者に通知しなければならない。
2. 現場代理人は、工事現場に常駐し、その運営、取締りを行うほか、請負代金額の変更、請負代金の請求及び受領、契約の解除に係る権限を行使することができる。
3. 現場代理人、監理技術者等(監理技術者、監理技術者補佐又は主任技術者)及び専門技術者は、これを兼ねることができる。
4. 発注者は、現場代理人がその職務の執行につき著しく不相当と認められるときは、受注者に対して、その理由を明示した書面により、必要な措置を取るべきことを請求することができる。



じゅ 受	けん 検	ばん 番	ごう 号	し 氏	めい 名

1 電一次(後)

令和 5 年度

1 級電気工事施工管理技術検定

第一次検定問題(午後の部)

[注 意 事 項]

1. ページ数は、表紙を入れて 17 ページです。
2. 試験時間は、14 時 15 分から 16 時 15 分までです。
3. 解答は、次によってください。
 - 1) [No. 58] から [No. 63] までの 6 問題は施工管理法の応用能力問題です。全問解答してください。
 - 2) [No. 64] から [No. 70] までの 7 問題は、全問解答してください。
 - 3) [No. 71] から [No. 79] までは、9 問題のうちから 6 問題を選択し、解答してください。
 - 4) [No. 80] から [No. 92] までは、13 問題のうちから 10 問題を選択し、解答してください。
4. 選択問題の解答数が指定数を越えた場合は、減点となります。
5. 問題は、四肢択一式又は五肢択一式です。正解と思う肢の番号を、塗りつぶしてください。
6. 解答は、別の解答用紙に、HB の芯を用いたシャープペンシル又は HB の鉛筆で記入してください。それ以外のボールペン・サインペン・色鉛筆などを使用した場合は、採点されません。
7. マークを訂正する場合は、消しゴムできれいに消してください。消しかたが十分でない指定数を越えた解答となり、減点となります。
8. 解答用紙は、雑書きをしたり、汚したり、折り曲げたりしないでください。
9. この問題用紙の余白を、計算などに使用することは自由です。
10. 漢字に付したふりがなは補足であり、異なる読み方の場合があります。
11. この問題用紙は、試験終了時刻まで在席した方のうち、希望者は持ち帰ることができます。途中退席者や希望しない方の問題用紙は回収します。

※ 問題番号 [No. 58] から [No. 63] までの 6 問題は、施工管理法の応用能力問題です。
全問解答してください。

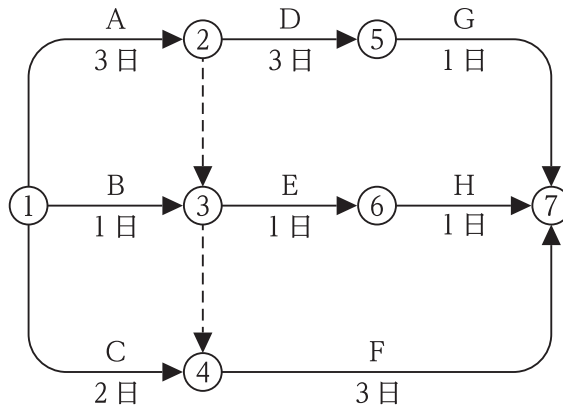
[No. 58] 建設工事における仮設計画に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. 屋内に設ける仮設通路は、通路面から高さ 1.8 m 以内に障害物がないようにした。
2. 工所用電源として出力 10 kW の可搬型ディーゼル発電機を使用するので、電気主任技術者を選任する計画とした。
3. 仮設の低圧ケーブル配線が通路床を横断するので、車両等の通過により絶縁被覆が損傷しないように架空配線で使用する計画とした。
4. 仮設の配線に接続する架空つり下げ電灯は、高さ 2.3 m に設置したのでガードを省略した。
5. 工所用電気設備の建物内幹線は、工事の進捗に伴う移設や切り回し等の支障の少ない場所で立上げる計画とした。

[No. 59] 建設工事における施工要領書を作成する際の留意事項として、最も不適当なものはどれか。

1. 品質の向上を図り、安全かつ経済的な施工方法を検討した。
2. 他の現場においても共通に利用できるような一般的事項を記入した。
3. 設計図書などに明示のない部分を具体化して作成した。
4. 作業員に施工方針や施工技術を周知するために作成した。
5. 工事の着手前に作成して、工事監理者の承諾を受けた。

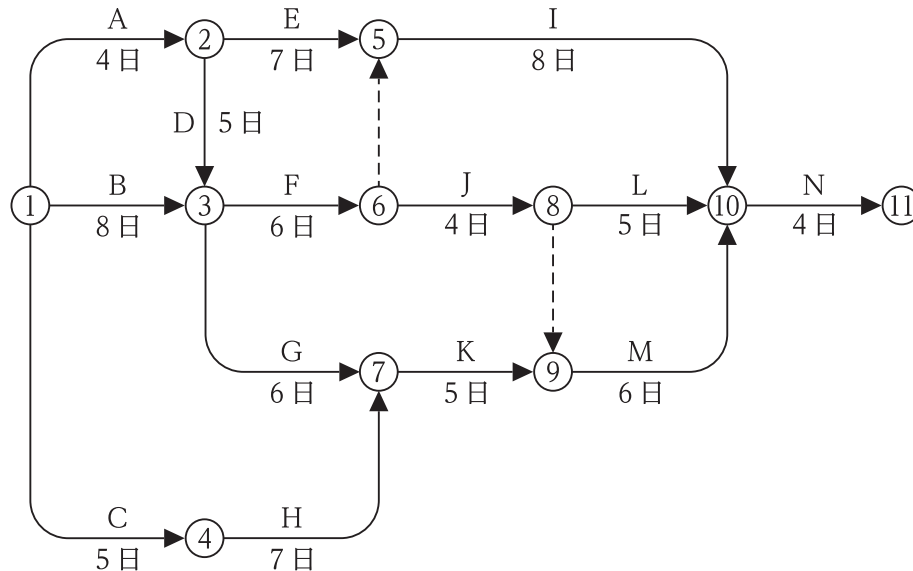
[No. 60] 図に示す建設工事のネットワーク工程表において、クリティカルパスの日数(所要工期)を7日から6日に1日短縮する場合の記述として、最も不適当なものはどれか。
 ただし、○内の数字はイベント番号、アルファベットは作業名、日数は所要日数を示す。



1. 各作業のトータルフロートを算出した。
2. トータルフロートが負(マイナスの値)となった作業の中から短縮が可能な作業を選び、日数の短縮を行った。
3. 最終イベント⑦の最遅完了時刻を、当初の所要工期より1日短縮した日数とし、各イベントの最遅完了時刻を算出した。
4. トータルフロートが負(マイナスの値)となる作業は、作業D及び作業Gであった。
5. 作業Aを1日短縮すると作業Fは1日早くスタートできる。

[No. 61] 図のネットワーク工程表において、クリティカルパスの日数(所要工期)として、正しいものはどれか。

ただし、○内の数字はイベント番号、アルファベットは作業名、日数は所要日数を示す。



1. 27日
2. 28日
3. 29日
4. 30日
5. 31日

[No. 62] 品質管理に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. 品質管理とは、品質計画における目標を施工段階で実現するために行う工事管理の項目、方法等をいう。
2. 品質管理は、問題発生後の検出を重視し、工事の過程で予防処置を行う必要はない。
3. 工程の各ステップごとに品質管理のチェックリストを作成して計画的に管理する。
4. 品質管理においては、要求する品質と品質を作り出すために必要な原価とのバランスが重要である。
5. P → D → C → A の管理のサイクルを回していくことが、品質管理の基本となる。

[No. 63] 品質管理に関する次の記述に該当する図等の名称として、**適当なもの**はどれか。

「不良品等の発生個数や損失金額等を原因別に分類し、大きい順に左から並べて棒グラフとし、さらにこれらの大きさを順次累積した折れ線グラフで表した図」

1. ヒストグラム
2. レーダーチャート
3. 管理図
4. 特性要因図
5. パレート図

※ 問題番号 [No. 64] から [No. 70] までの 7 問題は、全問解答してください。

[No. 64] 着工時の施工計画を作成する際の検討事項として、最も重要度の低いものはどれか。

1. 防火区画の確認をする。
2. 塩害などの環境条件を確認する。
3. 新工法や特殊な工法などを調査する。
4. 関連業者と施工上の詳細な納まりを検討する。

[No. 65] バーチャート工程表の特徴に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. 各作業の所要日数、日程が把握しやすい。
2. 現場の工程変化に対し、補正・補足が容易である。
3. 横線式工程表の一種であり、各作業の余裕時間が把握しやすい。
4. 作業間の手順が概ね分かり、工程上の問題点の把握が容易である。

[No. 66] 進捗度曲線(Sチャート)を用いた工程管理に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. 進捗度曲線は、上方許容限界曲線と下方許容限界曲線で囲まれた形がバナナ形になることから、バナナ曲線と呼ぶことがある。
2. 実施数量の累積値が計画数量の累積値の上側にある場合は、工程に遅れが生じている。
3. 計画時点の進捗度曲線は、労力などの平均施工速度を基礎として作成される。
4. 進捗度のずれには許容限界があり、回復しがたい状態に追い込まれないことが必要である。

[No. 67] 高圧受電設備の絶縁性能の試験(絶縁耐力試験)に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. 試験実施の前に、変圧器や計器用変成器の二次側の接地を外していることを確認した。
2. 試験実施の前後に絶縁抵抗測定を行い、絶縁抵抗が規定値以上であり、試験前後で変わらないことを確認した。
3. 試験電圧の半分ぐらいまでは徐々に昇圧し、検電器で機器に電圧が印加されていることを確認してから、試験電圧まで昇圧した。
4. 試験終了後、電圧を零に降圧して電源を切り、検電して無電圧であることを確認してから接地し、残留電荷を放電した。

[No. 68] 労働者の危険を防止するための措置に関する記述として、「労働安全衛生法」上、誤っているものはどれか。

1. 作業員の昇降用に幅が30 cmの移動はしごを設けた。
2. 地中管路を施設するための掘削深さが1 mであったので、作業員昇降用の設備を省略した。
3. 高さが2 mの箇所での作業であったので、要求性能墜落制止用器具を取り付けるための設備を設けた。
4. 物体を投下する高さが3 mであったので、投下設備を設ける等労働者の危険を防止するための措置を省略した。

[No. 69] 建設現場において、特別教育を修了した者が就業できる業務として、「労働安全衛生法」上、誤っているものはどれか。
ただし、道路上を走行する運転を除く。

1. つり上げ荷重が1.5tの移動式クレーンの玉掛けの業務
2. 最大荷重が1t未満のフォークリフトの運転の業務
3. ゴンドラの操作の業務
4. 高圧充電電路の支持物の点検の業務

[No. 70] ^{あか} 明り掘削^{くっさく}の作業^{ぎぎょう}における、^{ろうどうしや}労働者の危険^{きけん}を防止^{ぼうし}するための措置^{そち}に関する記述^{かん}として、
「^{ろうどうあんぜんえいせいほう}労働安全衛生法^{じょう}」上^{あやま}、誤^{あやま}っているものはどれか。

1. ^{くっさく}掘削^{ぎぎょう}作業により^{どうかん}ガス導管^{ろしゆつ}が露出^{ろしゆつ}したので、^{ぼうご}つり防護^{おこな}を行った。
2. ^{じやま}地山の掘削^{くっさく}作業^{ぎぎょう}主任者^{しゆにんしや}が、^{きぐおよ}器具^{こうぐ}及び^{てんけん}工具^{こうぐ}を点検^{てんけん}し、^{かりようひん}不良品^とを取り除^{のぞ}いた。
3. ^{すな}砂^{じやま}からなる地山^{てぼ}を手掘^{くっさく}り^{くっさくめん}で掘削^{くっさく}するので、^{ばい}掘削面^どのこう配^どを35度とした。
4. ^{どど}土止め^{しほこう}支保工^{もう}を設けたので、^{にち}14日^{てんけん}ごとに点検^{おこな}を行い、^{いじょう}異常^{みと}を認め^{ただ}たときは直ちに^{ただ}補修^{ほしゅう}した。

※ 問題番号 [No. 71]から[No. 79]までは、9問題のうちから6問題を選択し、解答してください。

[No. 71] 水力発電の有水試験に関する記述として、最も関係のないものはどれか。

1. 水車関係機器の単体動作試験として、圧油装置の調整後、调速機によるガイドベーンの開閉の動作を確認した。
2. 負荷遮断試験として、発電機の負荷を突然遮断したときに、水車発電機が異常なく無負荷運転に移行できることを確認した。
3. 発電機特性試験として、発電機を定格速度で運転し、電圧調整試験を実施後、無負荷飽和特性、三相短絡特性など諸特性の測定を行った。
4. 非常停止試験として、発電機の一定負荷運転時に、非常停止用保護継電器のひとつを動作させ、所定の順序で水車が停止することを確認した。

[No. 72] 屋外に設置するキュービクル式高圧受電設備に関する記述として、「高圧受電設備規程」上、最も不適当なものはどれか。

ただし、キュービクルは、高さ2m以上の開放された場所に設置するものとする。

1. キュービクルへ至る保守点検用の通路は、保守員がキュービクルまで安全に到達できるように、幅0.8mの通路を全面にわたり確保した。
2. キュービクルを建物屋上の端までの保有距離が2mの位置に設置するので、墜落防止のために高さ0.9mのさくを設けた。
3. キュービクル前面には、基礎に足場スペースを設けた。
4. 基礎の開口部からキュービクル内部に小動物が侵入しないよう、開口部に網を設けた。

[No. 73] 架空送電線路の延線工事に関する記述として、不適当なものはどれか。

1. 架線ウインチのキャプスタンの軸方向は、メッセンジャワイヤの巻き取り方向に対して直角とした。
2. 電線が金車を通るときに、スリーブとその前後の電線を保護するためにジョイントプロテクタを装着した。
3. 電線やワイヤロープに必要な張力を与えて安定した延線を行うために、延線車を用いた。
4. メッセンジャワイヤの巻き取り、繰り出し、停止及び変速のために、緊線ウインチを用いた。

[No. 74] 一般事務室に設けるコンセント専用の分岐回路に関する記述として、「内線規程」上、不適当なものはどれか。

1. 20 A 配線用遮断器分岐回路に、定格電流 15 A のコンセントを 10 個設置した。
2. 20 A 配線用遮断器分岐回路に、定格電流 20 A のコンセントを 2 個設置した。
3. 30 A 分岐回路に、定格電流 20 A のコンセントを 3 個設置した。
4. 30 A 分岐回路に、定格電流 30 A のコンセントを 2 個設置した。

[No. 75] 構内電気設備の合成樹脂製可とう電線管(PF管, CD管)の施工に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

ただし、使用電圧は、300 V 以下とする。

1. 太さが 28 mm の管を曲げるときは、その内側の半径を管内径の 6 倍以上とした。
2. コンクリート埋込の管は、バインド線で鉄筋に結束し、支持間隔を 1.5 m とした。
3. 合成樹脂管に金属製のボックスを接続して使用したが、乾燥した場所に施設したので接地工事を省略した。
4. CD 管はコンクリート埋込部分に使用し、PF 管は二重天井内の隠ぺい部分とコンクリート埋込部分で使用した。

[No. 76] バスダクト工事による低圧屋内配線に関する記述として、「電気設備の技術基準とその解釈」上、不適当なものはどれか。

1. 造営材に水平に取り付けるバスダクトの支持間隔を3mとした。
2. 電気シャフト(EPS)内に垂直に取り付けるバスダクトの支持間隔を6mとした。
3. 使用電圧400Vの屋外用バスダクトを湿気の多い展開した場所に施設した。
4. 使用電圧400Vのバスダクトに、人が接触しないようさくを設けたので、バスダクトにはD種接地工事を施した。

[No. 77] 架空単線式の電車線路に関する記述として、「鉄道に関する技術上の基準を定める省令及び同省令等の解釈基準」上、誤っているものはどれか。
ただし、新幹線鉄道は除くものとする。

1. 本線におけるカテナリちょう架式の電車線(トロリ線)は、公称断面積 85mm^2 のみぞ付硬銅トロリ線とした。
2. カテナリちょう架式の電車線のハンガ間隔は、5mとした。
3. 剛体ちょう架式の電車線は、支持点の間隔を7m以下とした。
4. 集電装置にパンタグラフを使用する区間の電車線(トロリ線)の偏いは、レール面に垂直の軌道中心面から300mm以内とした。

[No. 78] 建築物の屋内駐車場の車路管制設備に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. ループコイルをスラブに埋設するので、鉄筋との離隔を0.05mとした。
2. ループコイルとループコイル式検知器の間の配線の長さは、15mとした。
3. 車路上に取り付ける信号灯の高さを、車路床面から器具下端で2.1mとした。
4. 壁掛形発券器の発券口の高さを、車路床面から1.2mとした。

[No. 79] 地中電線路の施工に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. 洞道内のケーブルは、熱伸縮の影響を少なくするため、スネーク布設の変曲点で拘束した。
2. 管路へのケーブル引入時、ケーブルの損傷を防ぐため、引入側の管路口にケーブルガイドを取り付けた。
3. 管路の途中に水平屈曲部があったので、引入張力を小さくするため、屈曲部に近い方のマンホールからケーブルを引き入れた。
4. 傾斜地の管路に布設されたケーブルの熱伸縮による滑落を防止するため、上端側管路口にプーリングアイを取り付けた。

※ 問題番号 [No. 80] から [No. 92] までは、13 問題のうちから 10 問題を選択し、解答してください。

[No. 80] 監理技術者資格者証に関する記述として、「建設業法」上、誤っているものはどれか。

1. 資格者証の申請者が二以上の監理技術者資格を有する者であるときは、それぞれ個別の資格者証が交付される。
2. 資格者証には、交付を受ける者の生年月日及び住所が記載されている。
3. 資格者証の有効期間は、申請により更新される。
4. 資格者証には、建設業者の業務に従事している場合にあっては、当該建設業者の商号又は名称が記載されている。

[No. 81] 建設工事の請負契約の当事者が、契約の締結を電磁的措置で行う場合におけるその措置の技術的基準として、「建設業法」上、定められていないものはどれか。

1. 当該契約の相手方がファイルへの記録を出力することによる書面を作成することができるものであること。
2. ファイルに記録された契約事項等について、変更が行われていないかどうかを確認することができる措置を講じていること。
3. 当該契約の相手方が本人であることを確認することができる措置を講じていること。
4. 必要に応じて、ファイルを、容量の異なる複数個に分割したり、結合したりすることができるものであること。

[No. 82] 建設工事において、施工体系図を作成する場合に表示する事項として、「建設業法」上、定められていないものはどれか。

1. 複数の下請負人が建設業者であるときは、下請負人ごとに置く主任技術者の氏名
2. 発注者が監督員を置くときは、当該監督員の氏名
3. 下請負人が建設業者であるときは、一般建設業又は特定建設業の別
4. 作成建設業者が監理技術者補佐を置くときは、その者の氏名

[No. 83] 電気工作物に関する記述として、「電気事業法」上、誤っているものはどれか。

1. 工事計画の届出を必要とする自家用電気工作物を新たに設置する者は、工事計画を届け出、その届出が受理された日から30日を経過した後でなければ、工事を開始してはならない。
2. 発電のために設置するダム、水路及び貯水池は、電気工作物である。
3. 一般用電気工作物以外の電気工作物は、すべて自家用電気工作物である。
4. 自家用電気工作物を設置する者は、死亡又は入院を要する感電事故の発生を知った時から24時間以内可能な限り速やかに管轄する産業保安監督部長に概要について報告するとともに、30日以内に報告書を提出しなければならない。

[No. 84] 次の電気用品のうち、「電気用品安全法」上、特定電気用品に該当しないものはどれか。

1. 定格電圧600V、38mm²のCVTケーブル
2. 定格電圧AC250Vの温度ヒューズ
3. 定格電圧AC200V、定格消費電力10kWの電気温水器
4. 定格電圧100Vの携帯発電機

[No. 85] 電気工事士等に関する記述として、「電気工事士法」上、誤っているものはどれか。

1. 第一種電気工事士は、自家用電気工作物に係る電気工事の作業すべてに従事することができる。
2. 第二種電気工事士は、最大電力50kW未満であってもその自家用電気工作物に係る電気工事の作業に従事することができない。
3. 認定電気工事従事者は、電圧600V以下で使用する自家用電気工作物に係る電気工事のうち、電線路に係るものを除く電気工事の作業に従事することができる。
4. 特種電気工事資格者認定証及び認定電気工事従事者認定証は、経済産業大臣が交付する。

[No. 86] つぎ きじゆつ けんちく きじゆんほう じょう あやま
次の記述のうち、「建築基準法」上、誤っているものはどれか。

1. けんちくぶつ とち ていちやく こうさくぶつ やねおよ ほしらも かべ ゆう
建築物は、土地に定着する工作物のうち、屋根及び柱若しくは壁を有するものをいい、
けんちくせつび ふく
建築設備を含む。
2. そうこ じどうしゃしやこ きけんぶつ ちよぞうじょう けんちくぶつ とくしけんちくぶつ ふく
倉庫、自動車車庫、危険物の貯蔵場の建築物は、特殊建築物に含まれる。
3. つうじょう かさい しゅうりょう あいだ とうがい かさい けんちくぶつ とうかいおよ えんしょう ぼうし
通常の火災が終了するまでの間、当該火災による建築物の倒壊及び延焼を防止
するのために、とうがいけんちくぶつ ぶぶん ひつよう せいゆう たい かせいゆう
当該建築物の部分に必要とされる性能を、耐火性能という。
4. けんちくしゆじ けんちくぶつ しきち こうぞうおよ けんちくせつび じょうじてきほう じょうたい つと
建築主事は、建築物の敷地、構造及び建築設備を常時適法な状態にするよう努め
なければならない。

[No. 87] つぎ きじゆつ けんちくしほう じょう あやま
次の記述のうち、「建築士法」上、誤っているものはどれか。

1. けんちくし けんちくぶつ かん ちようさまた かんてい おこな
建築士は、建築物に関する調査又は鑑定を行うことができる。
2. いっきけんちくし いっきけんちくし ねん いじょうせつびせつけい じゅうじ のち とうろくこうしゅうきかん
一級建築士は、一級建築士として5年以上設備設計に従事した後、登録講習機関
おこな しょうてい こうしゅう かにてい しゅうりょう のち ねん い ない こくど こうつうだいじん せつびせつけい いっきけんちくし
が行う所定の講習の課程を修了した後、1年以内に国土交通大臣へ設備設計一級
けんちくししゅう こんふ しんせい
建築士証の交付を申請できる。
3. けんちくし こうじかんり しゅうりょう ただ けつか ぶんしよ けんちくしゆじ ほうこく
建築士は、工事監理を終了したときは、直ちにその結果を文書で建築主事に報告
しなければならない。
4. けんちくぶつ おうきゅうか せつけんちくぶつ のぞ しんちく ばあい の めんせき こ
建築物(応急仮設建築物を除く。)を新築する場合に、延べ面積が1000 m²を超え、
かつ、かいすう いじょう けんちくぶつ いっきけんちくし こうじかんり
階数が2以上の建築物は、一級建築士でなければ工事監理をしてはならない。

[No. 88] きけんぶつ ちよぞうおよ とりあつかい せいげんとう していすうりょう かん きじゆつ しょうぼうほう
危険物の貯蔵及び取扱いの制限等における指定数量に関する記述として、「消防法」
じょう あやま
上、誤っているものはどれか。

ただし、しよかつしょうぼうちようまた しょうぼうしよちよう しょうにん う ばあい のぞ
ただし、所轄消防長又は消防署長の承認を受けた場合を除く。

1. していすうりょう きけんぶつ きけんせい かんあん せいれい さだ すうりょう
指定数量とは、危険物についてその危険性を勘案して政令で定める数量である。
2. しょうりょう きけんぶつ していすうりょう にぶん いちいじょう とうがい していすうりょう みまん
少量危険物とは、指定数量の二分の一以上で当該指定数量未満のものをいう。
3. けいゆ していすうりょう リットル
軽油の指定数量は、1000 L である。
4. していすうりょう いじょう きけんぶつ ちよぞうじよいがい ばしよ ちよぞう
指定数量以上の危険物は、貯蔵所以外の場所で貯蔵してはならない。

[No. 89] 建設業における特定元方事業者が、労働災害を防止するために講ずべき措置に関する記述として、「労働安全衛生法」上、誤っているものはどれか。

1. 特定元方事業者と関係請負人との間及び関係請負人相互間における、作業間の連絡及び調整を行うこと。
2. 特定元方事業者及びすべての関係請負人が参加する協議組織の設置及び運営を行うこと。
3. 統括安全衛生責任者との連絡を行わせるための、関係請負人の安全衛生責任者の選任を行うこと。
4. 関係請負人が行う労働者の安全又は衛生のための教育場所の提供など、指導及び援助を行うこと。

[No. 90] 常時50人以上の労働者を使用する建設業の事業場において、選任しなければならない者又は設けなければならない委員会として、「労働安全衛生法」上、定められていないものはどれか。

1. 産業医
2. 安全衛生推進者
3. 衛生管理者
4. 安全衛生委員会

[No. 91] 使用者が労働契約の締結に際し、労働者に対して書面の交付により明示しなければならない労働条件として、「労働基準法」上、定められていないものはどれか。

1. 休職に関する事項
2. 従事すべき業務に関する事項
3. 就業の場所に関する事項
4. 退職に関する事項

[No. 92] 建設資材廃棄物に関する記述として、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」
上、誤っているものはどれか。

1. 都道府県知事は、特定建設資材廃棄物の再資源化等の適正な実施を確保するため、職員に、営業に関係のある場所に立ち入り、帳簿、書類その他の物件を検査させることができる。
2. 特定建設資材とは、コンクリート、木材その他建設資材のうち、政令で定められた建設資材のことをいい、合成樹脂製可とう電線管(CD管)が含まれる。
3. 建設工事の元請業者は、当該工事に係る特定建設資材廃棄物の再資源化等が完了したときは、その旨を発注者に、書面により報告又は電磁的方法により通知をしなければならない。
4. 再資源化には、分別解体等に伴って生じた建設資材廃棄物であって、燃焼の用に供することができるものを、熱を得ることに利用できる状態にする行為が含まれる。



令和5年度 1級電気工事施工管理技術検定 第一次検定 正答肢

(午前の部)

< 令和5年6月11日実施 >

問題No.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
正答肢	1	2	4	2	2	3	2	1	3	1
問題No.	11	12	13	14	15	15問題のうち 10問題を選択し解答				
正答肢	4	3	1	2	1					

問題No.	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
正答肢	4	1	1	2	2	1	3	4	1	1
問題No.	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35
正答肢	4	2	3	4	1	1	3	4	3	3
問題No.	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45
正答肢	3	3	4	3	1	4	1	3	1	2
問題No.	46	47	32問題のうち 14問題を選択し解答							
正答肢	3	4								

問題No.	48	49	50	51	52	53	54	55	8問題のうち 5問題を選択し解答	
正答肢	4	3	1	4	2	3	2	3		

問題No.	56	57	2問題は全問解答			
正答肢	2	2				

(午後の部)

問題No.	58	59	60	61	62	63	【応用能力問題】 6問題は全問解答				
正答肢	4	2	4	4	2	5					
問題No.	64	65	66	67	68	69	70	7問題は全問解答			
正答肢	4	3	2	1	4	1	4				

問題No.	71	72	73	74	75	76	77	78	79
正答肢	1	2	4	3	2	3	4	3	4

9問題のうち 6問題を選択し解答

問題No.	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89
正答肢	1	4	2	3	1	1	4	3	2	3
問題No.	90	91	92	13問題のうち 10問題を選択し解答						
正答肢	2	1	2							

配点：92問出題し、そのうち60問解答を要する試験であり、各問題1点、60点満点です。